

原発事故時 感染症対策を実施すれば避難所は足りず、住民の安全は守れません 避難先アンケート結果に基づく質問・要望書

加東市長 安田正義 様

このたびは、「原発事故時の避難所 感染症対策等に関するアンケート」にご協力いただきありがとうございます。40年超えの高浜原発と美浜原発で事故が起きた場合のアンケート回答の全体版については、既にお送りしている通りです。わずか2週間強で回答率は9割以上となり、避難先自治体にとっても関心が高いことを示しています。アンケート結果は、コロナ禍で必要となる避難所について、多くの自治体が現在の避難所では「足りない」と回答しています。

以下では、加東市の回答も含め、避難先を兵庫県の自治体に限った場合のアンケート結果について、特徴等を記しています。

アンケート結果を踏まえ、以下の質問と要望に答えてください。

高浜原発事故時 【避難元】福井県4市町、京都府7市町 【避難先兵庫県の自治体】35市町

美浜原発事故時 【避難元】福井県2市 【避難先兵庫県の自治体】11市町

質 問 事 項

1. 避難所の数、マッチングについて

加東市の場合、高浜原発事故時も美浜原発事故時も、福井県若狭町から約1,700名の住民を受け入れることになっています。アンケートでは、①避難所の数は空欄で、②マッチングは「できていない」との回答。③理由として「約1700人に対して、1人あたり4m²及び通路分を確保するのは簡単ではない」と書かれてありました。

(1) 避難所の数が空欄だったのはなぜでしょうか？

関西広域連合の「原子力災害に係る広域避難ガイドライン」(2019年3月改訂版)では、加東市の避難所は2か所となっています(やしろ国際学習塾、滝野総合公園体育館)。同じく若狭町から約1,700名を受け入れる西脇市は5か所、同じく約700名を受け入れる多可町は4か所の避難所を設定しています。

加東市では、今後避難所の数を増やす計画ですか？

その場合、何か所を予定されていますか？

具体的な施設名は決まっていますか？

(2) マッチングの完成について、どのような検討をされていますか？

完成するのはいつ頃ですか？

2. 避難所の感染症対策について

アンケート結果では、感染症対策を実施した場合、避難所は「足りない」との回答が多くありました。とりわけ、兵庫県内 35 市町が避難先になっている高浜原発事故時の場合は顕著です。

【高浜原発事故時 兵庫県内の避難先自治体の回答】

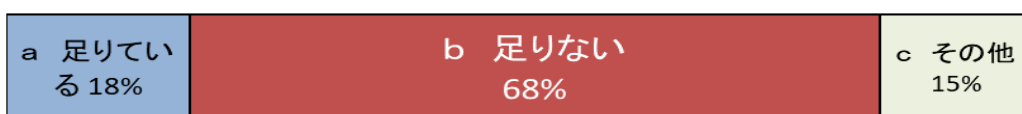
35 市町中で回答ありは 33 市町 回答率 94%

感染症対策を実施した場合 「避難所の数は足りていますか？」（複数回答あり）

「足りている」は、わずか 18%（6 市町）

「足りない」は、68%（23 市町）で約 7 割にも

「その他」は、15%（5 市町）。事故時に「柔軟に対応」等で実際は何も決まっていない



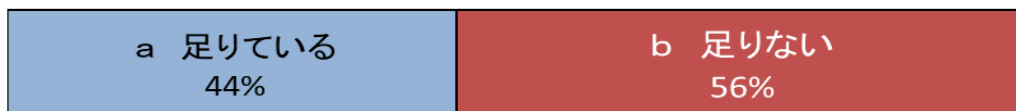
※舞鶴市民約 34,000 人を受け入れる最大の府外避難先である神戸市は、「その他」で、「受け入れ調整の中で、現実に発生する避難者数と避難所の状況を見ながら柔軟に対応する」と回答。西宮市等も同様の回答。また、神戸市は、マッチングもできておらず「マッチングは受け入れ調整の中で行う」と回答。これでは、どの避難所に向かうのかという防災の基本もできていない。

※南丹市約 1,800 名の避難先である南あわじ市は、9 か所から 25 か所に避難所を増やした

【美浜原発事故時 兵庫県内の避難先自治体の回答】

11 市町中で回答ありは 9 市町 回答率 82%

「足りている」は、44%（4 市町） 「足りない」は、半数以上の 56%（5 市町）



※若狭町約 3,600 名の避難先である越前町は、15 か所から 40 か所に避難所を増やした

(1) 加東市の回答は、①「足りない」、②「対策を予定」とあり③「市が被災した場合のことも含め、避難所の指定は増やしているが、まだまだ足りない」とのことでした。

足りない理由、避難所を増やすにあたっての困難な点は何でしょうか？

(2) 「足りない」とした他の自治体では、「当市だけでは判断できない」「兵庫県、京都府を交えて協議を行う必要がある」との回答もありました。

加東市では、兵庫県に相談されていますか？

避難元の若狭町に現状を伝え、協議されていますか？

3. 濃厚接触者の「別室確保」について

濃厚接触者の「別室確保」については、いくつかの自治体では「確保できていない」、

「事故後の状況等に応じて、京都府・兵庫県と対応を検討する」との回答がありました。

加東市の回答は、「確保できている」とのことですが、避難所は決まっていないが、避難所とは別の「別室」を確保されているということでしょうか？その場合「別室」はどこですか？

以上のように、アンケート結果からは、避難先である兵庫県内の自治体でも、マッチングがまだ出来ていなかったり、感染症対策を実施した場合に避難所が足りない現状が浮き彫りになっています。

3月18日に水戸地方裁判所は、避難計画に実効性がない中では東海第2原発を運転してはならないとの判決を出しました。住民の安全を守るためには、避難計画の実効性が不可欠だという司法の判断です。

しかし、関西電力や国は、国内初となる40年超えの老朽原発の再稼働を進めようとしています。福井県知事は、避難計画に大きな不備があるにも関わらず、「事故後に調整する」として、再稼働に同意を表明しようとしています。これでは、住民の安全を守ることはできません。

これらから、以下を要望します。

要 望 事 項

1. 避難所がまだ決まっておらず、そのためにマッチングができていない現状や、感染症対策を実施した場合に避難所が足りない現状について、避難元の若狭町に伝え、協議してください。
2. 避難所の感染症対策について、一つの自治体に任せるのではなく、兵庫県・関西広域連合で具体的に協議するよう働きかけてください。
3. 避難所の確定やマッチングには時間がかかりますが、確実に進めてください。
4. 避難所不足等の現状では、避難元住民の安全を守ることはできません。そのため、40年超えの老朽原発美浜3号、高浜1・2号の再稼働に反対を表明してください。

2021年4月2日

避難計画を案ずる関西連絡会



連絡先団体：グリーン・アクション/ 原発なしで暮らしたい丹波の会/ 脱原発はりまアクション
原発防災を考える兵庫の会/ 美浜の会/ 避難計画を考える滋賀の会

この件の連絡先：美浜の会 大阪市北区西天満 4-3-3 星光ビル 3階 TEL：06-6367-6580